

# 登録速報

農 薬 名：ザンテツジャンボ（登録番号：第 23337 号）

適用拡大登録月日：平成27年8月5日

適用拡大登録内容：

- 適用土壌、適用地帯の区分を廃止する。

## 【変更後】

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法
移植水稻	水田一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ ウリカワ ミズガヤツリ ヘラオモダカ ヒルムシロ セリ	移植後3日～ ノビエ2.5葉期 但し、移植後30日まで	小包装(パック) 10個(250g) /10a	1回	水田に小包装 (パック)のまま 投げ入れる

ピリリスファンを含む農薬の総使用回数	ベンゾビシロンを含む農薬の総使用回数
2回以内	2回以内

注意事項の変更：

## 【削除】

- 河川、湖沼、地下水等を汚染しないよう、落水、かけ流しはしないこと。

## 【変更後】

- 本剤は雑草の発生前から生育初期に有効なので、ノビエの2.5葉期までに、時期を失しないように散布すること。なお、多年生雑草は生育段階によって効果にふれが出るので、必ず適期に散布すること。ホタルイ、ミズガヤツリ、ウリカワ、ヘラオモダカは2葉期まで、ヒルムシロは発生期まで、セリは再生始期までが本剤の散布適期である。
- 苗の植付けが均一となるように、代かきおよび植付作業はていねいにおこなうこと。未熟有機物を施用した場合は、特にていねいにおこなうこと。
- 藻類・表層はく離などの水面浮遊物が多い場合は、本剤の拡散が不十分になり、部分的な薬害や効果不足を生じるおそれがあるため、使用はさけること。
- 以下のような条件下では薬害が発生するおそれがあるため使用をさけること。
  - 略
- 梅雨時期等、散布後に多量の降雨が予想される場合は、除草効果が低下するおそれがあるの

で使用をさけること。

- 本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意するほか、別途提供されている技術情報も参考にして使用すること。特に初めて使用する場合や異常気象の場合には、病虫害防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

以 上